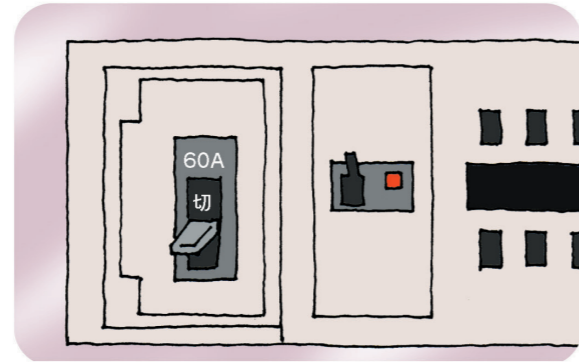
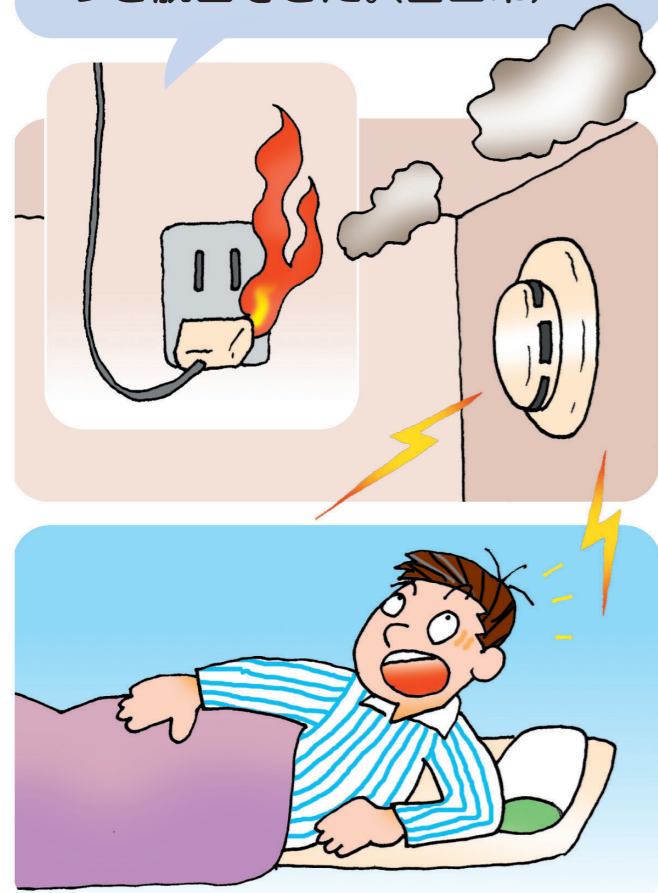


# 富山県内で住宅用火災警報器の設置により大事に至らなかった事例

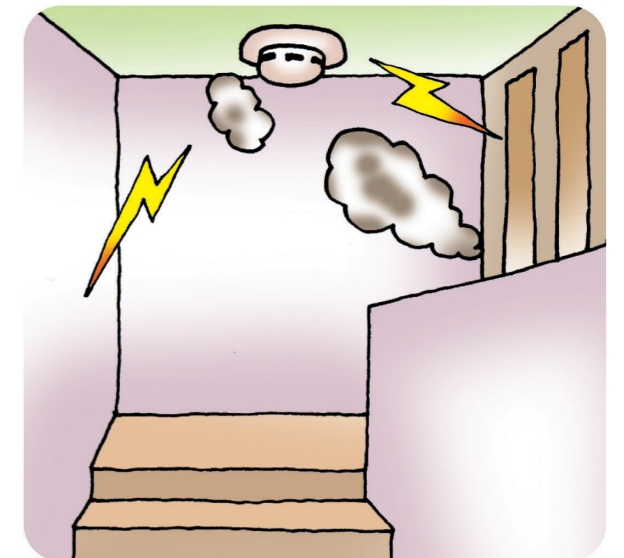
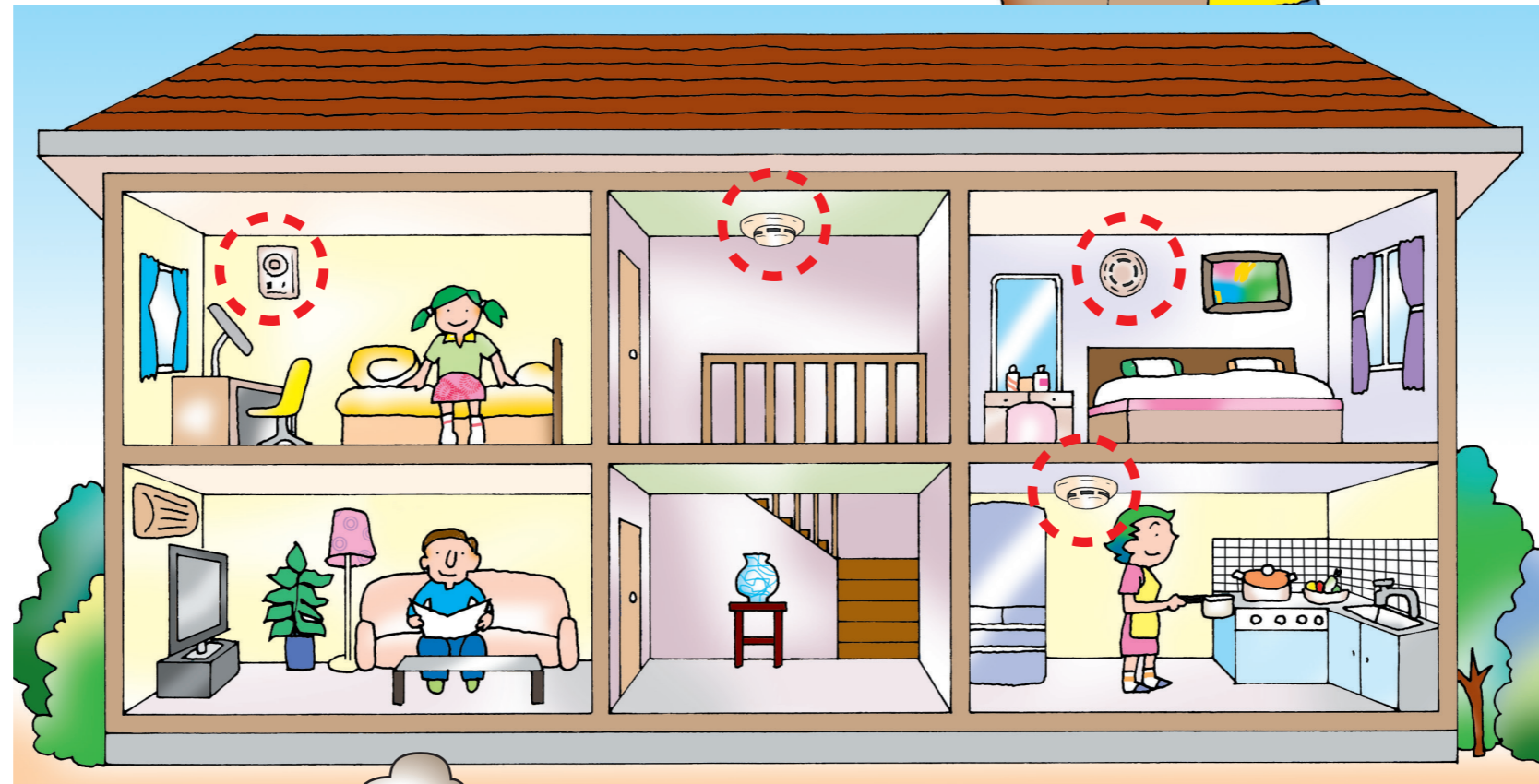
事1例

台所の電気コンセントから出火したが、台所に設置していた警報器が作動し、仮眠していた住人は警報音に気づき脱出できた。(富山市)



事3例

ブレーカーが落ち、天井付近の配線から出火したが、階段に設置した警報器が作動したので、119番通報し、ぼやですんだ。(魚津市)



事4例

寝室(2階)でのたばこの不始末により出火したが、階段に設置した警報器の音に気づき、直ちに119番通報し、寝室のみの焼損で済んだ。(入善町)

事2例

家人が鍋をかけたまま外出し空焚きになったが、設置していた警報器の警報音と煙で近所の人気づき、火事に至らなかった。(高岡市)



警報音や音声で住宅用火災警報器が火災の発生をいち早く警告!

